【公報種別】特許法第１７条の２の規定による補正の掲載
【部門区分】第６部門第３区分
【発行日】平成19年8月30日(2007.8.30)

【公開番号】特開2001-75828(P2001-75828A)
【公開日】平成13年3月23日(2001.3.23)
【出願番号】特願2000-227078(P2000-227078)
【国際特許分類】
　Ｇ０６Ｆ　21/22　　(2006.01)
【ＦＩ】
　Ｇ０６Ｆ　9/06　　６６０Ｎ

【手続補正書】
【提出日】平成19年7月11日(2007.7.11)
【手続補正１】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】特許請求の範囲
【補正方法】変更
【補正の内容】
【特許請求の範囲】
【請求項１】　コンピュータ・システムにおいて、
　ＢＩＯＳイメージを受け取って格納するためのハードディスク・ドライブと、
　ＢＩＯＳイメージでフラッシュされるよう適応されたフラッシュＲＯＭのＢＩＯＳ部分であって、ＢＩＯＳイメージは、フラッシュ署名と、該ＢＩＯＳイメージが特定のコンピュータ・システムとコンパチブルであることの認証のための符号化された情報とを含んでいる、フラッシュＲＯＭのＢＩＯＳ部分と、
　ＢＩＯＳイメージがフラッシュＲＯＭのＢＩＯＳ部分にフラッシュされようとする場合に、ハードディスクからＢＩＯＳイメージを受け取って格納するためのＲＡＭメモリと、
　ＳＭＩポートにＢＩＯＳイメージのフラッシュ署名の少なくとも一部分を書き込むことによって、ソフトウェアＳＭＩを生成するためのプログラムと、
　ソフトウェアＳＭＩに応答して、ＢＩＯＳイメージが特定のコンピュータ・システム用の認証されたＢＩＯＳイメージであるかどうかを判定し、認証されたＢＩＯＳイメージであると認定した場合に、該ＢＩＯＳイメージをフラッシュＲＯＭのＢＩＯＳ部分にフラッシュすることを許可するソフトウェアＳＭＩハンドラ・プログラムと
からなることを特徴とするコンピュータ・システム。
【請求項２】　請求項１記載のコンピュータ・システムにおいて、ソフトウェアＳＭＩハンドラ・プログラムはさらに、コンピュータ・ユーザにとってアクセスしにくいコードを含むことを特徴とするコンピュータ・システム。
【請求項３】　請求項１記載のコンピュータ・システムにおいて、ソフトウェアＳＭＩハンドラには、ソフトウェアＳＭＩインタラプトを通してのみ、アクセス可能であることを特徴とするコンピュータ・システム。
【請求項４】　請求項１記載のコンピュータ・システムにおいて、ＢＩＯＳイメージの符号化された情報は、ソフトウェアＳＭＩハンドラ・プログラムによって解読される暗号化された部分を有していることを特徴とするコンピュータ・システム。
【請求項５】　請求項１記載のコンピュータ・システムにおいて、ＢＩＯＳイメージの符号化された情報は、ＣＲＣ及びチェック・サムの内の少なくとも１つを含んでいることを特徴とするコンピュータ・システム。
【請求項６】　請求項１記載のコンピュータ・システムにおいて、ソフトウェアＳＭＩハンドラ・プログラムは、ハードウェアに依存しないプログラムであることを特徴とするコンピュータ・システム。

【請求項７】　請求項１記載のコンピュータ・システムにおいて、ソフトウェアＳＭＩハンドラ・プログラムは、メモリのシステム管理メモリ・セグメントに格納されることを特徴とするコンピュータ・システム。
【請求項８】　請求項１記載のコンピュータ・システムにおいて、ソフトウェアＳＭＩハンドラ・プログラムは、逆アセンブルに抵抗のある圧縮フォーマットの状態で存在することを特徴とするコンピュータ・システム。
【請求項９】　コンピュータ・システムの中のＲＯＭのＢＩＯＳ部分をフラッシュするための方法において、
　フラッシュすべきＲＯＭのＢＩＯＳについてのフラッシュＢＩＯＳファイル名及びフラッシュＢＩＯＳファイル・サイズを判定するステップと、
　ソフトウェアＳＭＩポート位置を判定するステップと、
　判定されたフラッシュＢＩＯＳファイル名及びフラッシュＢＩＯＳファイル・サイズを持つＢＩＯＳイメージであって、該ＢＩＯＳイメージが当該コンピュータ・システムとコンパチブルであることの照合のための符号化された情報を含んでいるＢＩＯＳイメージを、ＲＡＭに配置するステップと、
　ＢＩＯＳをフラッシュすることが意図されていることを示すために、フラッシュＢＩＯＳ署名を使用するステップと、
　ソフトウェアＳＭＩインタラプトを生成するステップと、
　生成されたソフトウェアＳＭＩインタラプトに応じて、フラッシュＢＩＯＳ署名が有効であるかどうかを判定し、有効である場合に、符号化された情報に基づいて、ＢＩＯＳイメージが当該コンピュータ・システムに関して認証されたＢＩＯＳイメージであるかどうかを判定するために、ソフトウェアＳＭＩインタラプト中に、特定のコードを実行するステップと、
　ＢＩＯＳイメージが認証されたＢＩＯＳイメージであると判定された場合に、ＲＯＭのＢＩＯＳ部分をフラッシュするステップと
からなることを特徴とする方法。
【請求項１０】　請求項９記載の方法において、判定されたフラッシュＢＩＯＳのファイル名及びフラッシュＢＩＯＳのファイル・サイズを持つＢＩＯＳイメージが、ＲＡＭの連続ブロックに配置されることを特徴とする方法。
【請求項１１】　請求項９記載の方法において、特定のコードを実行するステップは、ＢＩＯＳイメージの予め定められた暗号化部分を解読するステップを含むことを特徴とする方法。
【請求項１２】　請求項９記載の方法において、特定のコードを実行するステップは、ＢＩＯＳイメージの符号化情報の予め定められた部分に含まれるチェック・サム及びＣＲＣの内の少なくとも一つをチェックするステップを含むことを特徴とする方法。